

## #2 キリストのからだの実際のために復活の中で生活する

サンクス・ギビング特別集会 2019/1/21-27

### I. 私たちは復活の中で生活するために、キリストの復活に関して明らかにされた真理を見なければなりません：

A. 人性の中のキリストは、復活の中で神によって生まれて神の長子となり、からだのかしらとなりました。

B. キリストのすべての信者は、父なる神によって、キリストの復活を通して再生されました。それは、彼の複製である彼のからだとしての召会を生み出すためです。

C. 最後のアダムとしてのキリストは、命を与える霊と成りました。

D. 主の復活のこれらの主要な項目（神の長子、神の多くの子たち、命を与える霊）がなければ、召会はなく、キリストのからだもなく、神のエコノミーもありません。【月】

### II. 芽を出した杖が表徴しているのは、復活した方であるキリストが私たちの命、私たちの生活、私たちの中の復活の命であるべきであるということと、この命が芽を出し、花を咲かせ、実を結んで熟すべきであるということです：

A. 民数記第16章に記載されているように、イスラエルの子たちが反逆した後、神は十二人の族長に命じて、イスラエルの十二部族にしたがって十二本の杖を取らせて、それらを集会の天幕の中にある証しの板の前に置かせました。それから神は、「私が選ぶ人の杖は芽を出す」と言われました。

B. 十二本の杖はすべて、葉がなく、根がなく、枯れて、死んでいました。芽を出したものは、神によって選ばれたものでした。ここで私たちが見るのは、復活が神の選びの根拠であるということと、奉仕の根拠が私たちの天然の命の外にあるということです。こういうわけで、芽を出した杖が表徴するのは、私たちが経験する復活のキリストであり、彼によって私たちは神によって受け入れられて、神が与えてくださった務めの中で権威を持ちます。

C. あらゆる奉仕の原則は、芽を出した杖にあります。神は十一本の杖すべてを族長たちに戻しましたが、アロンの杖は契約の箱の中に保存して、永遠の記念としました。これが意味するのは、復活が、神に対する私たちの奉仕の永遠の原則であるということです：

①復活が意味するのは、あらゆる事が神からであって、私たちからではないということと、神だけができるのであって、私たちにはできないということです。

②私たちができる事は、天然の領域に属します。私たちができない事は、復活の領域に属します。人は、自分自身の終わりへともたらされなければなりません。そうしてはじめて、自分が全く役に立たないことを知ります。

③もし人が、自分自身にはできないことを認識したことがなければ、神にはできることを決して経験できません。復活が意味するのは、私たちにはできないということと、神があらゆる事を行なった方であるということです。【火】

### III. 私たちはキリストのからだの実際の中にいるために、完全にキリストの復活の命の中にいる必要があります：

A. 召会は、完全にキリストの要素からであり、完全に復活の中にあり、完全に天上にあります。

B. キリストのからだである召会を予表する金の燭台は、復活の命であるキリストが成長し、枝を出し、芽を出し、花を咲かせて光を輝かすことを描写しています。

C. 私たちは、自分の天然の命によってではなく、

私たちの中の神聖な命によって生きるとき、復活の中にいます。この結果がキリストのからだです：

①私たちはみな、主によって弟子とされて、神聖で奥義的な人となり、自分の天然の命を否むことによって神聖な命を生きる必要があります。

②天然の命において行なわれる事は何であれ、たとえそれが聖書的に行なわれているとしても、キリストのからだの実際ではありません。【水】

### IV. 私たちは復活の中で生活するために、復活の神を知り、経験し、得なければなりません：

A. 神は十字架を通して働いており、私たちを最終させ、私たちを終わりへともたします。それは、私たちがもはや自分自身に信頼するのではなく、復活の神に信頼するためです。

B. 生ける神は人のために多くの事を行なうことができますが、生ける神の命と性質は人の中へと造り込まれません。復活の神が働くとき、彼の命と性質は人の中へと造り込まれます：①神が働いているのは、外面の行為によって彼の力を知らせるためではなく、ご自身を人の中へと分け与え、造り込むためです。②神は環境を用いて、ご自身の命と性質を私たちの中へと造り込みます。③私たちは復活の中で生活して、復活の神で構成されるために、「すべて」を通して、神の長子であるキリストのかたちに同形化されなければなりません。④この宇宙における苦難のおもな目的は、特に神の子たちに関しては、苦難を通して神の性質が人の性質の中へと造り込まれて、人が最も満ち満ちた程度にまで神を得ることです。⑤私たちは患難を経過するとき、日ごとに私たちの中で継続的な更新が起こる必要があります。それによって、神はご自身の心の願いを達成して、私たちを新エルサレムとすることができます。【木】

C. 私たちは復活の中で生活するために、復活の命の新鮮な供給で養われることによって、日ごとに新しくされなければなりません：①真のクリスチャン生活は、朝と夕に、日ごとに、復活の神が私たちの中へと加えられることです。②私たちは復活の中にある神聖な命の新しくする能力を受けるために、神と接触し、自分自身を彼に開き、彼に私たちの中へと入って来ていただき、日ごとに私たちの中へと新しく増し加わっていただく必要があります：

a. 私たちは、十字架、聖霊、私たちのミングリングされた霊、神の言葉によって新しくされます。b. 私たちは毎朝、復興される必要があります。c. 私たちは、他の人たちを赦すことと、赦しを求めることによって、新しくされる原則の中で主の食卓に来るべきです。

③十字架の殺しは、復活の命が現されるという結果になります。この日ごとの殺しは、復活の中で神聖な命を解き放つためです。【金】

D. 私たちの天然の力と能力は、主に仕えるために、十字架によって対処されて、復活の中で有用になる必要があります：①モーセは神によって四十年間、わきに置かれた後、神の導きにしたがって神に仕えることと神に信頼することを学びました。

②ペテロは徹底的に失敗した後、信仰によって、またへりくだりをもって兄弟たちに仕えることを学びました。

③七倍に強化された命を与える霊は、復活の中にあるものだけを尊重します。もし私たちが行なういかなる働きも、復活の中になら、命を与える霊は決してそれを尊重しないでしょう。【土】

**Crucial Point①:復活の中で、「人にはできないが、神はそうではない。神にはすべての事ができるからである」を経験する**

**マルコ10:27** イエスは彼らを見つめて言われた、「人にはできないが、神はそうではない。神にはすべての事ができるからである」。

**ピリピ3:10** キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて、11 何とかして、死人の中からの格別な復活に到達するためです。

**OL1:**復活が意味するのは、あらゆる事が神からであって、私たちからではないということと、神だけができるのであって、私たちにはできないということです。

**OL2:**私たちができる事は、天然の領域に属します。私たちができない事は、復活の領域に属します。人は、自分自身の終わりへともたらされなければなりません。そうしてはじめて、自分が全く役に立たないことを知ります。

**OL3:**もし人が、自分自身にはできないことを認識したことがなければ、神にはできることを決して経験できません。復活が意味するのは、私たちにはできないということと、神があらゆる事を行なった方であるということです。

復活は、私たちの天然の命からでないもの、私たち自身からでないもの、私たちの能力に基づいていないあらゆるものです。復活は、私たちが及ばないもの、私たちが自分自身でできないことについて語ります。…人は自分自身の無能さを決して認識したことがないなら、決して神の能力を経験することはできません。…復活とは、私たちが自分自身の中で持っていないものを、神が私たちに与えてくださったことを意味します。聖書は何度も、人は自分自身でそれができないことを証します。しかし多くの人々は、自分ではできると思っています。…復活は、あなたにはできないということと、神があらゆる事を行なった方であるということの意味します。

主に対するすべての奉仕は、死と復活を経過しなければなりません。そうしてはじめて、それらは神に受け入れられます。復活が意味するのは、あらゆる事が神からであって、私たちからではないということです。それが意味するのは、神だけができるのであって、私たちにはできないということです。復活が意味するのは、あらゆる事が神によってなされるのであって、私たちによってではないということです。すべて自分自身を高く思う者や、自分自身について誤った判断を持っている者は、復活が何であるかを認識したことがありません。だれも、自分自身で何でもすることができると間違っただけで考えるべきではありません。もし人が、自分には能力があり、何かを行なうことができる、自分は役に立つと思いつけるなら、復活を知りません。…すべて復活を知っている人は、自分自身の望みを捨てています。彼らは、自分自身にはできないということを知っています。天然の力が残っている限り、復活の力が現される根拠はありません。サラが子供を産むことができる限り、イサクは来なかったでしょう。私たちができる事は、天然の領域に属します。私たちができない事は、復活の領域に属します。

神の能力が現されるのは、神の創造においてではなく、復活においてです。神の最大の力が現されるのは、創造を通してではなく、復活を通してです。神の力が創造において現される時、死が先に必要はありません。しかし神の力が復活において現される時、死が先に必要があります。すべて創造されたものには、創造するために先立つものは必要ありませんが、すべて復活の中にあるものは、それに先立つものが必須です。…人は、自分自身の終わりへともたらされなければなりません。そうしてはじめて、自分が全く役に立たないことを確信します。

**適用:青年在職/大学院生編**

青年在職者/大学院生であるあなたは召会の腰です。昨年神戸に在る召会は132名バプテスマしました。毎月平均11名バプテスマしたことになります。昨年だけでなく、最近の10年以上、ほぼ毎年100名以上のバプテスマをしています。なぜ自分たちがそのように大勢の人をバプテスマできたのかというと、それは天然の命によるのではなく、復活の命によって福音を伝えたからです。

2019年の目標は、110名以上バプテスマすることです。この目標に到達するため、あなたは過去の経験だけに頼ってははいけません。自分を空っぽにし、献身を更新し、再び聖霊で満たされなければ、このような目標に到達することは不可能です。不可能な目標は、復活の中でのみ到達することができます。また、主日の集会人数(大人のみ)の目標は185人です。あなたは信仰の中で、この目標を宣言し、その目標に到達するために毎四半期、毎月、毎週、毎日、復活の命の中で労苦すべきです。

あなたはビジネス・パーソンとして召会の目標以外に、ビジネスの目標にも到達する必要があります。一つの目標を持つだけでも大変なのに、二つの目標を持つことは、あまりにも重すぎると考えるかもしれません。しかし、復活の命であるキリストを賛美します。人ができることを行なうのであれば、復活の命の必要はありません。復活とは、あなたにはできないということと、神がすべてのことを行なうということです。あなたは復活の中でキリストの証し人となり、召会を建造してください。主の知恵と復活の大能により、この二つの目標をクリアするように立ち向かって戦ってください。

もう一度言います、あなたは決して「二つの困難な目標をクリアすることはできないので、仕事だけに絞った方が良い」と考えてはいけません。あなたができるなら、復活の必要はないのです。最大の困難は死ですが、復活は死から出て来ることです。主は言われました、「私は復活であり、命である。私の中へと信じる者は、たとえ死んでも生きる。(ヨハネ11:25)」。

**祈り:**「私は復活の中で、人にはできないことを成し遂げることができます。私は、召会の地区の目標に到達するために、復活の命の中で労苦します。同時に、仕事の目標も主の祝福の中で、クリアすることができますように！ 主が神のエコノミーの推進のために、召会の地区の目標到達とビジネス・ライフの目標到達の両方を祝福してくださいように！ アーメン！」

**詩歌381 キリストを経験する — 命として (英841)**

- 1 主、わがいのち、うちに生く；  
かみの豊富で われ、満たす。  
なが性しつで われきよめ、  
復かつの大能、勝利得さす。
- 4 いのちの成分、ゆたか、新鮮、  
われ、うるおし、呼び覚ます。  
いのちは死を 飲み尽くす、  
なげき変わり、うたとなる。
- 6 おのが努力よく、まったくやめ、  
主、はたらかせ、自己を脱ぐ；  
聖徒取り組む みからだは、  
主を住まわせ、主を表現す。

IIコリント4:10 絶えずこの体に、イエスの致死力が働いています。それはまた、イエスの命が、私たちの体に現されるためです。11 なぜなら、私たち生きている者はイエスのために、絶えず死に渡されているからであり、それはイエスの命が、私たちの死ぬべき肉体に現されるためです。12 こうして、死は私たちの中で働き、命はあなたがたの中で働きます。

OL1: 私たちは復活の中にある神聖な命の新しくする能力を受けるために、神と接触し、自分自身を彼に開き、彼に私たちの中へと入って来ていただき、日ごとに私たちの中へと新しく増し加わっていただく必要があります。

OL2: 私たちは、十字架、聖霊、私たちのミングリングされた霊、神の言葉によって新しくされます。

IIコリント4章で、パウロは、「イエスの致死力」について語っています。これは、イエスが、積極的な意味で、常に私たちを殺しつつあることを意味します。今日、多くの薬にはいやす要素と殺す要素があって、私たちの内側の悪い菌とバクテリアを殺します。イエスの中には殺す要素があります。彼は私たちの薬であって、私たちがいやし、私たちが生かし、私たちの内側の消極的なものをすべて殺します。

神は最上の備えを持ち、私たちが助けて更新を受け入れさせていただきます。第一の備えは十字架、イエスの致死力です。IIコリント4章によれば、パウロは常に十字架の殺し、主の死の下にいました。十字架は、私たちのために更新を達成する最大の助けです。

第二の備えは聖霊です。テトス3:5は、「聖霊の更新」について語っています。私たちは内側に聖霊を持っています。彼の主要な働きは、まず私たちが再生し、次に毎日私たちが更新することです。…神が私たちに与えられた第三の備えは、私たちのミングリングされた霊、神聖な霊とミングリングされた私たちの人の霊です。私たちの人の霊の中に、聖霊が住み、働いて、私たちが更新します。…私たちの霊は、私たちが更新を受ける場所です。私たちのミングリングされた霊は私たちの思いへと拡大し、こうして私たちの思いの霊となります。そのような霊の中で、私たちは造り変えのために更新されます。

十字架、聖霊、私たちの霊に加えて、私たちに聖なる御言があります。からだのかしらは、言葉の中の水の洗いによって、召会、からだを清めます。私はとても長い間、聖書を勉強してきたので、マタイに1章やローマ8章のような章を思い起こすことができます。私はこれらの章の内容についてただ考えるとき、洗われます。私はローマ8:4(霊にしたがって歩く)について考えるとき、洗われます。私たちはみな日ごとに言葉の中の水の洗いを受ける必要があります。

私たちは主の食卓に来るときはいつも、新しくされることを必要とします。…彼が設けられた食卓は新しく、彼が彼の御父の王国の中で取られる食卓は新しいでしょう。私たちは新しい方法で、新しくされる原則の中で主の食卓に来なければなりません。どのようにして私たちは、新しさの中で食卓に来ることができるのでしょうか？ 私たちは、何であれ消極的なものが古さの原因また要因であることを認識する必要があります。消極的なものは私たちが古くします。

私たちはすべての消極的なものの徹底的な告白と対処を必要とします。私たちが古くするもう一つのは、他の人たちを赦さないことです。常に人を赦し、赦されることを常に求めなさい。

あなたを更新するための神の最上の備え1 — 十字架:

キリストは十字架上で、異なる人々の間の敵意である隔ての中垣、さまざまな国の国民性や文化的規定を廃棄されました。

エペソ2:14 なぜなら、彼ご自身は、私たちの平和であって、両者をついにし、そして敵意である隔ての中垣を取り壊し、15 数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり、

あなたはあなたと馬の合わない人や、他の国の人と考え方や行動パターンが大きく異なり、うまくやっていると感ずる時、彼らから離れるのではなく、主の御名を呼んで十字架の致死力を経験してください。サタンの原則は分裂ですが、神の原則は一です。あなたは天然の命の中を生きると、分裂を繰り返してしまいます。しかし分裂の原因である異なる規定や考え方は、十字架ですでに廃棄されました。主の御名を呼び、十字架の致死力を経験すれば、あなたは主の中で他の人と結び付けられます。あなたが他の人と結び付けられるのは神のエコノミーのゴールである召会建造のためです。このことを経験すればするほど、あなたは度量が広げられ、建造のために更新されます。

あなたを更新するための神の最上の備え2、3、4 — 聖霊、ミングリングされた霊、御言葉:

伝道の書12:1 あなたの若い日に、あなたの作り主を覚えよ。悪しき日が来る前に、「私にはこれらに何の楽しみもない」と言う年が近づく前に。

8 伝道者は言う、空の空、すべては空である。

神がなければすべてのものは古くなり、空の空です。しかし神があれば、あなたは新しさを経験し、更新されることができます。あなたは毎朝学校に行く前、聖書を読んで更新されることを経験してください。聖書を読む時重要なことは、あなたの内側にあるミングリングされた霊を活用し、霊である神の言葉を祈り読みすることです。そうすればあなたは聖霊、命を与える霊に触れ、喜びで満たされ、毎朝更新されることを経験できます。

祈り:「おお主イエスよ、神がなければ良い高校や大学に行っても結局空しいものになってしまいます。しかし神があれば更新があり、良い高校や大学は私の祝福となります。私が十字架、聖霊、ミングリングされた霊、御言葉によって、毎朝更新されることができるとは、何という幸いです。毎朝更新されて喜びで満たされてから学校に行きます。私の学校生活を、勢いよく昇る太陽のようにしてください。主の御名の中で求めます。アーメン！」

詩歌11 父を礼拝する — 彼の新しさ(英16)

- 1 ちちよ、なれはしんせん、とわにみどり!  
生ける主おとろえなく、とわにいたる!  
(復) ちちよ、なれは新鮮、ふるびはせず!  
いくとせ過ぎ去るも、なおもしん鮮!
- 2 ちちよ、なれはかみ、また なれは「新」なり;  
なれなくばみなふるし、なれあれば「新」!
- 3 なれのあとうしゆくふく、みなあたらしい;  
新やく、あたらしいみち、とわにつづく。
- 4 あたらしいところ、れい、あたらしいひと;  
日々あたらしくされて、いのちに満つ。

# I. 高い福音

## 第五課 神がおられる(上)

創世記 1:1 はじめに、神は天と地を創造された。  
ローマ 1:20 神の见えない永遠の力と神性の特徴は、世界が創造されて以来、明らかに見られており、造られた物によって認められているので、彼らには弁解の余地がありません。

聖書は、世界でも類のない書物です。聖書で取り扱われている第一の主題は、神です。神は聖書の主要なテーマです。聖書の最初の節はこう言っています、「はじめに、神は天と地を創造された」。科学者たちは長い年月をかけてこの物質の宇宙を探ってきました。その研究を通して、彼らはこの宇宙が十分に計画された秩序だった体系であることを発見しました。聖書が神について何と言っているかを考える前に、まず私たちは宇宙が神について何と言っているかを考えましょう。

### 神は、宇宙を通して告げ知らされている

夜、空を見上げてご覧下さい。天文学者たちの推定では、私たちの銀河系には一千億以上の星があり、この宇宙には何百億、何千億、あるいは何兆という数で銀河系が存在しているということです。私たちが見るどの星も宇宙の太陽系を代表するものです。私たちの太陽系には太陽を中心に、時計のように正確に太陽の周りを運行する九つの惑星(冥王星を含む)があります。その惑星の一つである地球は、約時速十萬七千Kmというスピードで空間を進み、三百六十五日かかって太陽の周りを一周します。このスピードの一千分の一(時速 170Km)で走る高速電車がしばしば時間通りにいかないことを考える時、この事実は驚くべきことです。

神について宇宙は何と告げているのでしょうか？ 神の「永遠の力と神性な特徴」とは被造物によって明らかに知られると、聖書は告げています。絵が画家の特徴を表しているように、創造者の特徴は彼が創造された宇宙を通して現されるのです。

歴史を通じて、しばしば神という概念に反対する人がいました。しかし彼らが反対したという事実そのものが、神のおられることを意味します。反逆的な息子が父親を認めないということも、それは彼らに父親があることを意味します。ある人が家族を壊そうとするのも、家族が実際であるという意味です。推論の法則は、何であれあるものに反対するということは、それ自身が存在するということを前提にしていることを告げています。なぜなら文化や政治がどんなに

変わろうと、神を信じることが必ず、最後にはまさるからです。

### 神は、人類を通して表されている

人類の存在そのものが神の存在を語っています。人の体はまことに驚異です。現在医学は人の器官や手足をまねて、それに代わるように、多くの機械を発明しましたが、人の器官のように器用で効果的な機械はありません。

心臓は、一分間に七十二回、一年に四千万回、起きている時も寝ている時も休みなく脈を打ちます。毎日、大人の心臓は約十六万キロメートルの血管に血液を送り出し、それは世界を四周するのに十分な距離です。それは、毎日約七トンのタンクを血液でいっぱいにするほどの量です。だれが人の中にこのようなすばらしい器官を造り出すことができるのでしょうか？ 体の赤い血液の細胞を積み上げたとしたら、その高さはエベレスト山の五千倍をはるかに越えるでしょう！

鼻は一分間に十七回空気を吸い込みます。毎日、約一万四千リットルの空気になります。空気の温度を調節するほかに、湿気の調整とほこりのフィルター役をします。これらの三つの機能を備えた機械を人が造れば、約四十五キログラムもの重さになるでしょう。もしそのような「人が造った鼻」を顔に取り付けるとしたら、どんなことになるでしょう！

これらは人体の不思議さのほんの数例にすぎません。もし私たちが鏡の前に立つなら、私たちは聖書の中で詩編の作者が言った言葉に同意せざるを得ないでしょう。「私は恐れるべく、くすしく造られました；あなたのみわざはくすしく、あなたは最もよく私を知っておられます」。

### 詩歌 12 父を礼拝する — 彼の偉大さ

- てん地のつくられしもの、 すべてはなれのちから、  
そのいる、かたちすべては、 なが無限をひょうげんす。  
(復)  
わがこころ、霊はうたう、 なんと不思議よ!  
とわにわれらほうたう； 大いなるみかみを!
- あいする御子をつかわし、 すくいのみわざを成す、  
御子死に、いのちあたえて、 われら新創ぞうとす
- しょうかいのなかでなれを、 とともに享受し、 あずかる、  
み住まいけんぞうされて、 ながゆたかあらわさる。
- とき満ち、新エルサレムに、 あずかるをのぞみ待つ；  
てん地はあたらしくされ、 ながすべてあらわさる。